

令和8年度着手

県 営 しお塩 かわ川 地 区 土 地 改 良 事 業 計 画 書

(緊 急 農 地 防 災 事 業)

愛 知 県

(目次)

第1章 目 的	1	2 事業別面積	10
第2章 地域及び地積	1	第2節 営農計画及び土地利用計画	10
第1節 地域	1	1 営農計画の概要	10
第2節 地積	1	2 土地利用区分	10
第3章 現 況	2	3 作付け方式	10
第1節 気象	2	4 生産計画	10
1 一般気象	2	5 労働改善計画	11
2 特殊気象	2	6 級地別土地利用区分	11
第2節 土地状況	3	7 土地配分計画	11
1 地形、土壌及び浸食の程度	3	第3節 用水計画	11
2 土地分類	3	第4節 排水計画	11
3 土地利用の状況	4	1 計画基準雨量	11
4 土地所有の状況	4	2 計画排水方式	11
第3節 水利状況	5	3 計画排水系統	11
1 用水状況	5	4 計画排水量	12
2 排水状況	5	5 排水対策	12
3 河川状況	6	6 湛水検討	12
第4節 道路概況	6	第5節 道路計画	13
第5節 地域農業の概況	7	第6節 農用地造成計画	13
1 産業別就業人口	7	第7節 洪水調整計画	13
2 経営耕地広狭別農業経営体数	7	第8節 干拓計画	13
3 主要家畜頭数	8	第9節 農用地整備計画	13
4 主要作物作付状況	8	第10節 老朽ため池改修計画	13
5 農業の動向	9	第5章 主要工事計画	13
第6節 地域環境の概況	9	第1節 用水施設	13
第4章 一般計画	10	第2節 排水施設	13
第1節 事業計画の要旨	10	1 排水水門	13
1 要 旨	10	2 排水機	13
		3 排水路	13

4	その他排水施設	14
第3節	道路及び索道	14
第4節	農用地造成	14
第5節	洪水調整施設	14
第6節	干拓施設	14
第7節	農用地整備施設	14
第8節	老朽ため池改修施設	14
第6章	附帯工事計画	14
第7章	工事の着手及び完了の予定時期	14
第8章	環境との調和への配慮	15
第9章	管理の要領	15
第10章	換地計画の概要	15
第11章	事業費の総額及び内訳	15
第12章	効 用	16
第13章	関連する事業	17
第14章	現況・計画平面図	17
1	現況平面図	
2	計画平面図	
3	土地利用計画図	
4	主要構造図	

第1章 目 的

本地区は、愛知県の西部に位置し、二級河川日光川、二級河川領内川との合流地点に位置する流域約120haの低平地で、排水先の河川水位より標高が低いため、常時排水も排水機による強制排水に依存している。

塩川第1排水機場は昭和58年度、塩川第2排水機場は平成24年度に単独土地改良事業で整備された排水機場であるが、地区内開発による流出量の増加、経年劣化に起因する排水機的能力低下により、地区内の排水機能が低下し、湛水被害が発生する恐れがある。このため、塩川第2排水機場を廃止し、塩川第1排水機場を更新整備するものである。

第2章 地域及び地積

第1節 地 域 (第1表)

事 業 名	地 域
緊急農地防災事業	稲沢市

第2節 地 積 (令和8年2月現在) (第2表)

事 業 名	現況地目	田	畑	原野	山林	その他	計	備考
	市町村名							
緊急農地防災事業	稲沢市	19.3	1.5	—	—	10.1	30.9	稲沢市都市計画図より測定

第3章 現 況

第1節 気象

1. 一般気象

(第3表-1)

観測所名	蟹江観測所	かんがい期	非かんがい期	計又は平均	備考
観測期間	平成3年～令和2年	4月～ 9月	10月～3月		
平均気温(℃)		観測なし	観測なし	観測なし	
降水量	平 均(mm)	1,028.0	525.0	1,553.0	
	基準年(mm)	—	—	—	
降水日数	平 均(日)	62	43	105	
	基準年(日)	—	—	—	
根 雪 期 間	—				
無 霜 期 間	—				観測値があるのは名古屋地方気象台のみ
最 多 風 向	観測なし	最大風速 (風 向)	観測なし		

2. 特殊気象

(第3表-2)

観測所名	第1位			第2位			第3位			第4位			第5位			備考
蟹江観測所																
観測期間	数 量	年 月 日	発 生 確 率	数 量	年 月 日	発 生 確 率	数 量	年 月 日	発 生 確 率	数 量	年 月 日	発 生 確 率	数 量	年 月 日	発 生 確 率	
昭和51.1.1～ 令和6.12.31																
最大日雨量 (mm)	287.0	H12.9.11	1/203	241.5	H29.10.22	1/73	218.0	S51.9.12	1/42	182.0	S51.9.9	1/17	169.0	H3.9.19	1/12	
最大時間雨量 (mm)	78.0	H12.9.11	1/24	77.5	H25.9.4	1/24	76.0	H4.8.11	1/21	69.0	S63.9.20	1/13	65.0	H18.8.22	1/9	5位と同雨量 R6.8.24
最大4時間雨量 (mm)	141.0	H12.9.11 16:00～	1/45	135.0	H24.9.30 15:00～	1/35	122.5	H29.10.22 21:00～	1/19	118.0	S51.9.8 20:00～	1/16	118.0	H28.9.20 14:00～	1/16	
最大連続雨量 (mm)	614.0	S51.9.7 ～S51.9.14	1/142	418.0	H29.10.13 ～H29.10.25	1/26	365.0	H12.9.11 ～H12.9.12	1/15	359.0	S57.7.24 ～S57.8.3	1/15	337.0	R6.8.23 ～R6.9.2	1/12	
最大連続 干天日数(日)	43.0	H11.11.25 ～H12.1.6	1/762	39.0	H9.10.5 ～H9.11.12	1/242	27.0	H7.11.28 ～H7.12.24	1/10	26.0	S55.10.26 ～S55.11.20	1/8	25.0	S53.12.24 ～S54.1.17	1/7	5位と同干天日数 S62.12.10～1.3 H9.8.12～9.5 R6.7.26～8.19

第2節 土地状況

1. 地形、土壌及び浸食の程度 (第4表-1-1)

事業名	地目	田						畑・その他								受益地標高(m)		備考
	傾斜 区分	1/1,000 以下	1/1,000 ～ 1/100	1/100 ～ 1/20	1/20 ～ 1/11.5	1/11.5 以上	計	3° 以下	3° ～ 8°	8° ～15°			15° ～ 20°	20° 以上	計	最高	最低	
										8° ～ 10°	10° ～ 15°	小計						
緊急農地防災事業	面積 (ha)	19.3	－	－	－	－	19.3	11.6	－	－	－	－	－	－	11.6	-0.03	-0.90	
	比率 (%)	100	－	－	－	－	100	100	－	－	－	－	－	100				

(第4表-1-2)

項目 (区)土壌名	土 壤 統 (区) 区 分 一 覧 表									面積(ha)		備 考	
	土 壤 断 面							堆積 様式	母 材	事業名			
	色	腐 植	礫 層	酸 化 沈 殿 物	土 性					泥炭層 黒泥層 及びグライ層	緊急農地 防災事業		計
					表土	下層土							
					一層	二層	三層						
大治統	灰色	なし	なし	膜状、糸根 状有～含	粘質	粘質～ 強粘質	—	80cm以内に グライ層なし	水 積	非固結水成岩	19.3	19.3	水田
寺津統	青灰色	なし	なし	膜状、糸根状、 管状有～富	壤状	壤質	—	作土直下からグライ層	水 積	非固結水成岩			
三和統	灰色	なし	なし	あり	壤質	壤質～ 砂質	—	—	水 積	非固結水成岩	11.6	11.6	畑・その他
福地統	灰色	なし	なし	なし	壤質	壤質	—	—	水 積	非固結水成岩			
計	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	30.9	30.9	

2. 土地分類 該当なし

3. 土地利用の状況

(令和8年2月現在)

(第4表-3)

事業名	土地利用別 市町村名	耕 地						原 野	山 林	採 草 放 牧 地	そ の 他	計	備 考
		水 田 (ha)	普 通 畑 (ha)	牧 草 地 (ha)	果 樹 園 (ha)	茶 園 (ha)	そ の 他 の 樹 園 地 (ha)						
緊急農地 防災事業	稲沢市	19.3	1.5	—	—	—	—	—	—	—	10.1	30.9	

4. 土地所有の状況

(令和8年2月現在)

(第4表-4)

事業名	所有別 区分	個人有地等	国有地	県有地	市有地	計	備 考
緊急農地 防災事業	面 積 (ha)	20.8	10.1			30.9	
	受益者数 (人)	174	—			174	
	筆 数 (筆)	—	—			—	
	権 利 関 係	—	—			—	
	備 考 (関係戸数)	174	—			174	

第3節 水利状況

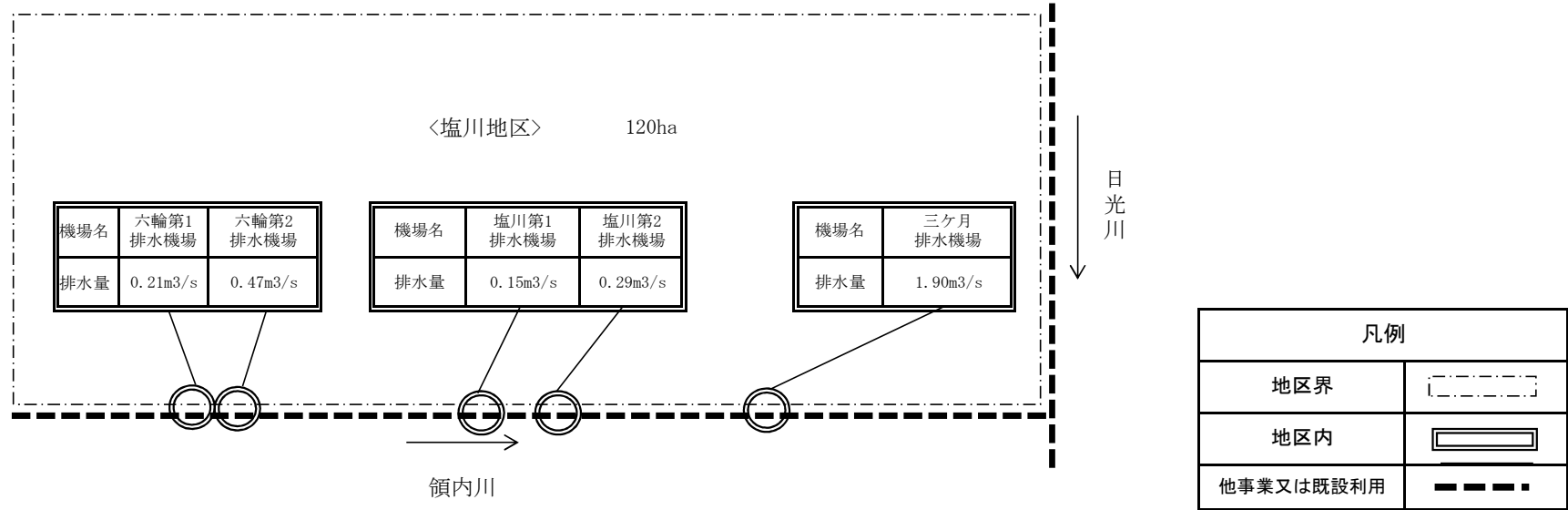
1. 用水状況

本地区は宮田用水の受益地であり、大江幹線水路から大塚支線水路により配水され、末端ほ場まで用水補給が完備されている。

2. 排水状況

降雨流出水は、地区内排水路で集水され流下し、塩川第1排水機場ほか4機場により領内川へ排水されている。しかし、近年では排水状況が悪化して、湛水被害が顕在化している。

(1) 排水系統



(2) 排水施設

(ア) 排水方法一覧表

(第5表-4)

事業名	項 目 施設名		排水面積						計		排水慣行 (m^3/S)	現況排水能力 (m^3/s)	備考
			500ha以上		100～500ha		100ha未満						
			箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha			
防 緊 災 急 事 農 業 地	自然	排水路	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
		水 門	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	機械	排水機	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
		水門及び排水機	—	—	5	120.0	—	—	5	120.0	—	3.02	
		排水路及び排水機	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	計		—	—	5	120.0	—	—	5	120.0	—	3.02	

(イ) 改修を要する施設一覧表

(第5表-5)

事業名	項 目		施設名又は 箇所数	受益面積 (ha)	構 造	規 模	新設年又は更新年	改修を必要 とする理由	備考
	施設名								
緊急農地 防災事業	自然	排水路	—	—	—	—	—	—	地区内開発による流出 量の増加、および供用 年数経過による排水機 場の機能低下
		水 門	—	—	—	—	—	—	
	機械	排水機	—	—	—	—	—		
		水門及び排水機	2	30.9	水中	塩川第1排水機場 φ 300 1台 Q=0.06m ³ /s	S58		
						塩川第1排水機場 φ 300 1台 Q=0.09m ³ /s	H5		
						塩川第2排水機場 φ 300 1台 Q=0.14m ³ /s	H24		
						塩川第2排水機場 φ 300 1台 Q=0.15m ³ /s	H27		
	排水路及び排水機	—	—	—	—	—	—		
計	2	30.9	—	—	—	—			

(3) 排水に関する被害状況

(第5表-6)

(第5表) (3)排水に関する被害状況																	
事業名	項目 施設名	排水 面積 (ha)	降水量 (mm/3日)		湛 水 状 況				乾 湿 状 況 (ha)						平 均 減 産 量 (t)		備考
					湛水深 (m)	湛水 時間 (hr)	湛水 面積 (ha)	湛水量 (千m3)	田		畑		その他				
									乾	湿	乾	湿	乾	湿	作物名	減産量(t)	
防 緊 災 急 事 農 業 地	塩川第1排水機場	120.0	平均	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1/20 確率	
	塩川第2排水機場 六輪第1排水機場 六輪第2排水機場 三ヶ月排水機場		基準 年	341	0.87	28.1	30.9	112.6	—	19.3	—	1.5	—	10.1	水稻、トマ ト、キャベ ツ、ほうれん そう、ねぎ		55.6

3. 河川状況

該当なし

第4節 道路概況

本地区は、流域中央部を国道155号及び一般県道給父西枇杷島線が通り、都市への交通の便が極めて優れた地域である。

第5節 地域農業の概況

1. 産業別就業人口

(第7表-1)

項目	総数	農業	林業	漁業	鉱業	建設業	製造業	電気ガス 熱供給 水道業	運輸 通信業	卸売 小売業 飲食店	金融 保険業	不動 産業	サービ ス業	公務	その他	備考
市町村名	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	
稲沢市	67,583	2,551	3	2	—	4,351	15,301	300	6,496	10,454	1,459	995	21,806	1,743	2,122	
比率(%)	100.0	3.8	0.0	0.0	0.0	6.4	22.6	0.4	9.6	15.5	2.2	1.5	32.3	2.6	3.1	

(出典：令和2年国勢調査)

2. 経営耕地広狭別農業経営体数

(第7表-2)

区分 市町村名	農業 経営 体数 (経営体)	経営耕地広狭別農業経営体数(経営体)										1経営体当たり平均 農用地面積(ha)				備考
		0.3 ha 未満	0.3 ～ 0.5 ha	0.5 ～ 1.0 ha	1.0 ～ 1.5 ha	1.5 ～ 2.0 ha	2.0 ～ 3.0 ha	3.0 ～ 5.0 ha	5.0 ～ 10.0 ha	10.0 ～ 20.0 ha	20.0 以上	田	畑	樹 園 地	草 地	
稲沢市	1,098	121	315	416	123	50	28	16	8	7	14	1.7	0.6	1.3	0.3	
比率(%)	100.0	11.0	28.7	37.8	11.2	4.6	2.6	1.5	0.7	0.6	1.3	43.6	15.4	33.3	7.7	

(出典：2020年農林業センサス)

3. 主要家畜頭数

(第7表-3)

項目 市町村名	主要家畜								備考
	乳用牛		肉用牛		豚		家さん		
	数量 (頭)	経営体数 (経営体)	数量 (頭)	経営体数 (経営体)	数量 (頭)	経営体数 (経営体)	数量 (100羽)	経営体数 (経営体)	
稲沢市	—	—	—	—	—	—	X	2	「X」は秘密保護上統計数値を公表しないもの。 「-」は調査は行なったが事実のないもの。
100経営体 当り数量 (頭、100羽)	—		—		—		X		
飼養経営体数 割合(%)									

(出典:2020年農林業センサス)

4. 主要作物作付状況

(第7表-4)

市町村名	稲沢市	作付割合 (%)	備考
総耕地面積 (ha)	1,660		
区分 作物名	作付面積 (ha)		
水稻	649	47.0	総耕地面積は、2020年農林業センサスに情報がないため、第71次東海農林水産統計年報の値を採用
麦類	X	—	
雑穀	X	—	
いも類	0	0.0	
豆類	4	0.3	作付け面積は、経営耕地面積のうち販売目的作付け（栽培）した作物の類別作付（栽培）面積である。
工芸作物	X	—	
野菜類	127	9.2	
果樹類	101	7.3	
花き類・花木	180	13.1	「X」は秘密保護上統計数値を公表しないもの
その他の作物	319	23.1	
計	1,380	100.0	

(出典:2020年農林業センサス)

5. 農業の動向

(第7表-5)

項目 区分	農業経営体			土地			主要作物			主要家畜			地域 指定等	備考
		B	A		B	A	作物名	B	A	家畜名	B	A		
変化の 状況（ C年を 100と する 指数）	農業経営体	72	52	耕 地	70	72	水 稻	58	57	乳用牛	—	—	農振整備計画 昭和45年12月指定 昭和47年 4月承認	A:令和2年 （ 2020 ） B:平成27年 （ 2015 ） C:平成22年 （ 2010 ）
	個人経営体	74	52	田	67	72	麦 類	X	X	肉用牛	X	X		
	団体経営体 （法人）数	60	81	畑	76	72	野菜類	X	50	豚	X	X		
	団体経営体 （非法人）数	—	—	樹園地	76	72	花き類 ・花木	76	55	家さん	X	X		
				牧草地	—	50								
変化の 理由	高齢化の進行および後継者数の減少に伴い、全体的に経営体数は減少傾向にある。			全体的な経営体数の減少に伴い、全ての地目において減少傾向にある。			全体的な経営体数の減少により、水稻、野菜類および花き類・花木も減少傾向にある。 麦類は統計数値が公表されていないため、動向の把握が困難である。			統計数値が公表されていないため、動向の把握が困難である。			「X」は秘密保護上統計数値を公表しないもの 「-」は調査は行なったが事実のないものの。	

注) A：現在（最近時点調査の農林業センサス）・・・2020年(R2)

B：Aの直前の行われた農林業センサス・・・2015年(H27)

C：Bの直前の行われた農林業センサス・・・2010年(H22)

第6節 地域環境の概況

稲沢市平和町地内における環境への配慮項目は次のとおりである。

1. 特に配慮すべき生物環境

本地区は、冬期の水田に「しらさぎ」が飛来し、水辺等には「鴨」、「鵜」が見られる。昆虫は、「アゲハチョウ」、「オニヤンマ」など様々な種類が見られる。魚類は、河川に「コイ」、「ゲンゴロウブナ」、「パラタナゴ」などの淡水魚が生息しており、貴重な生物環境が形成されている。

2. 特に配慮すべき生物以外のもの(景観・文化財他)

地区内には、「長福寺仁王門および仁王尊」、「阿弥陀如来坐像(円空作)」、「勝幡城址」などの指定文化財のほか、旧平和町指定の文化財が19件ある。また、「桜ネックレス計画」で整備された、日光川桜づつみ、須ヶ谷川桜づつみ、水辺環境1号桜遊歩道および小公園を利用して、毎年4月上旬に「さくらまつり」が開催され市民に親しまれている。

第4章 一般計画

第1節 事業計画の要旨

1. 要旨

本地区は、愛知県の西部に位置し、二級河川日光川、二級河川領内川の合流地点に位置する流域約120haの低平地である。地区西側には名鉄尾西線が走り、道路は国道155号および一般県道一宮弥富線が縦断し、一般県道給父西枇杷島線が横断している。さらに道路網の整備も進んだことで都市との連携がますます高まり、都市近郊型近代農業の先進的役割を果たしつつある地域である。

このため、本事業により塩川第2排水機場を廃止し、塩川第1排水機場の更新・整備を行い、湛水被害を未然に防止し、農業経営の安定を図るとともに、本地区の防災力の向上を図るものである。

2. 事業別面積

(第8表)

事業名 土地 利用区分	緊急農地防災事業					計 (ha)	
	水田	普通畑	牧草地	果樹園	その他		
事業目的	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)		
湛水被害防止	19.3	1.5	—	—	10.1	30.9	

第2節 営農計画及び土地利用計画

1. 営農計画の概要

湛水被害を防止し、農業経営の安定を期す。

2. 土地利用区分

(第9表-1)

事業名	土地利用 区分	水田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草地 (ha)	果樹園 (ha)	茶園 (ha)	その他 (ha)	小計 (ha)	原野 (ha)	山林 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備考
緊急農地 防災事業	現況	19.3	1.5	—	—	—	—	20.8	—	—	10.1	30.9	
	計画	19.3	1.5	—	—	—	—	20.8	—	—	10.1	30.9	

3. 作付け方式

該当なし

4. 生産計画

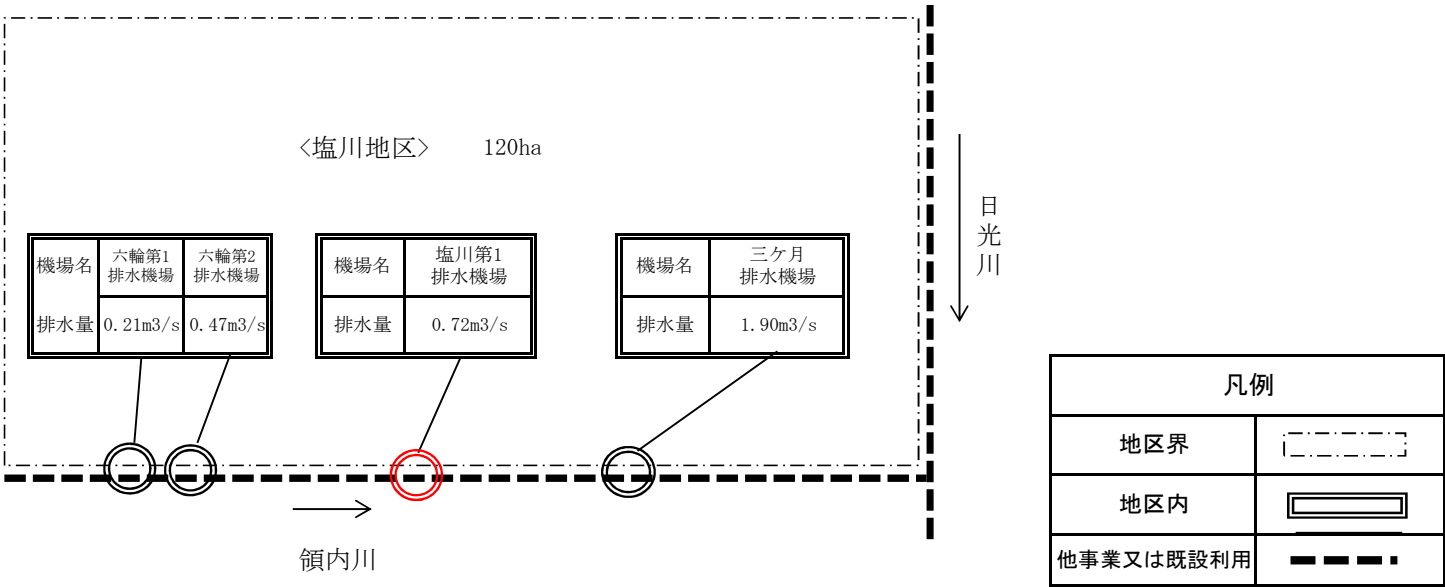
該当なし

- 5. 労働改善計画 該当なし
- 6. 級地別土地利用区分 該当なし
- 7. 土地配分計画 該当なし

第3節 用水計画 該当なし

第4節 排水計画

- 1. 計画基準雨量 3日連続雨量 341mm(1/20確率)
- 2. 計画排水方式
 - 排水方式……………機械排水
 - 許容湛水……………湛水深30cm以上の湛水時間が24時間以内
- 3. 計画排水系統



4. 計画排水量

(第11表－1)

項目 排水 系統名	受益面積 (ha)			流域面積 (km ²)		基準 雨量 (mm)	降雨による 直接単位 流出量 (m ³ /s/km ²)		基底流出量 (m ³ /s/km ²)		全排水量 (m ³ /s)		単位排水量 (m ³ /s/km ²)		備考
	事業名						山地	平地		平地					
	緊急農地 防災事業	—	計	山地	平地	山地		平地	山地	平地	自然排水	機械排水	山地	平地	
領内川	30.9	—	30.9	—	1.2	341	—	10.30	—	0.1	—	—	3.30	—	2.75

5. 排水対策

(1) 排水水門

該当なし

(2) 排水機

(第11表－3)

項目 名称	流域面積 (km ²)	受益面積(ha)			計画排水量		排水機				備考
		事業名			排水量 (m ³ /s)	地区内 湛水深(m)	実揚程 (m)	排水量 (m ³ /s)	台数 (台)	全排水量 (m ³ /s)	
		緊急農地 防災事業	—	計							
塩川第1排水機場	1.2	30.9	—	30.9	3.30	0.82	3.02	0.36	2	0.72	

(3) 排水路

該当なし

(4) その他

該当なし

6. 湛水検討

湛水検討を行なった結果は次表のとおりである。

区 分	基準田面標高 (m)	許容湛水深 (m)	許容湛水深以上 湛水時間 (hr)	最大湛水深 (m)	最大湛水面積 (ha)	備 考
現 況	-0.90	0.30	28.1	0.87	30.9	
計 画	-0.90	0.30	21.7	0.82	30.0	

第5節 道路計画 該当なし

第6節 農用地造成計画 該当なし

第7節 洪水調整計画 該当なし

第8節 干拓計画 該当なし

第9節 農用地整備計画 該当なし

第10節 老朽ため池改修計画 該当なし

第5章 主要工事計画

第1節 用水施設 該当なし

第2節 排水施設

1. 排水水門 該当なし

2. 排水機

(第18表－2)

項目 名称	位置	排水量 (m^3/s)	揚程(m)		排水機			原動機			備考
			全揚程	実揚程	型式	口径 (mm)	台数 (台)	型式	出力 (kw)	台数 (台)	
塩川第1排水機場	稲沢市	0.72	4.00	3.02	水中	ϕ 400	2	モーター	22	2	
計		0.72					2			2	

3. 排水路 該当なし

4. その他排水施設 該当なし

第3節 道路及び索道 該当なし

第4節 農用地造成 該当なし

第5節 洪水調整施設 該当なし

第6節 干拓施設 該当なし

第7節 農用地整備施設 該当なし

第8節 老朽ため池改修施設 該当なし

第6章 附帯工事計画

用地買収および補償費

(1) 用地買収

排水機場用地 792m² (地目:畑)

第7章 工事の着手及び完了の予定時期

1. 工期

着 手 令和8年度
完了予定 令和15年度(予定)

2. 工事の年度割予定

年度 工種	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	令和13年度	令和14年度	令和15年度	備考
緊急農地防災事業									

第8章 環境との調和への配慮

1. 配慮の対象
- 本地区は、旧平和町田園環境整備マスタープランにおいて、環境配慮区域となっている。
- 本地区内及び周辺の排水路や河川にはモツゴ、タモロコ等が生息している。今後もこれらの生物が生息できるような環境の保全に配慮していく。
2. 配慮の考え方
- 排水路、遊水池に生息するモツゴ、タモロコ等の魚類が仮設内に入らないようにネットを張る等の対策を行う。万一、魚類が入り込んだ場合は、一時的に捕獲・移動を行う。仮設内に閉じこめられた生物は、盛土投入前に保護し、隣接排水路に移動させる。
- また、濁水防止対策を講じ、水生生物の生息環境に配慮する。

第9章 管理の要領

県営緊急農地防災事業塩川地区により造成された土地改良施設は領内川用悪水土地改良区が管理する。

第10章 換地計画の概要 該当なし

第11章 事業費の総額及び内訳 (第26表)

事業名		緊急農地防災事業	(千円)	備 考
区 分				
事業費 ※1)		857, 000		
事務的経費 ※2)		140, 000		
計		997, 000		
(関 連 考 事 業)	—	—		
	—	—		
	—	—		
	—	—		

令和7年度単価。消費税については10%にて算定。(ただし、物価変動により将来変動することがある。)

※1) 事業費とは土地改良事業に要する費用のうち、事務的経費を差し引いた費用。

※2) 事務的経費とは愛知県緊急農地防災事業実施要綱により定められた事務費及び工事雑費。

第12章 効用

(第27表)

事業名	項 目	年総効果(便益)額(千円)	年総増加農業所得額(千円)	備 考
	区 分			
緊急農地防災事業	作物生産効果	12, 416	12, 444	
	維持管理費節減効果	△ 4, 003	63	
	災害防止効果(農業関係資産)	143, 502	10, 540	
	災害防止効果(一般資産)	110, 169	—	
	国産農産物安定供給効果	2, 008	—	
	計	264, 092	23, 047	令和7年度単価

(参考)	① 当 該 事 業 費:	756, 672 千円
	② そ の 他 費 用:	1, 758, 583 千円
	③ 総事業費(現在価値化) :	2, 515, 255 千円
	④ 年 償 還 額 :	— 千円/年
	④ う ち 機 能 向 上 分:	— 千円/年
	⑤ 年 総 効 果 (便益) 額:	264, 092 千円/年
	⑥ 現況年総農業所得額 :	19, 758 千円/年
	⑦ 年総増加農業所得額 :	23, 047 千円/年
	評価期間:48年	
	割引率:0.04	
	⑧ 総便益額(現在価値化) :	5, 526, 059 千円
	⑨ 総費用総便益比=⑧÷③=	2.19 ≥ 1.0
	⑩ 総所得償還率 =④÷⑥=	— ≤ 0.2
	⑪ 増加所得償還率=④' ÷⑦=	— ≤ 0.4

第13章 関連する事業

該当なし

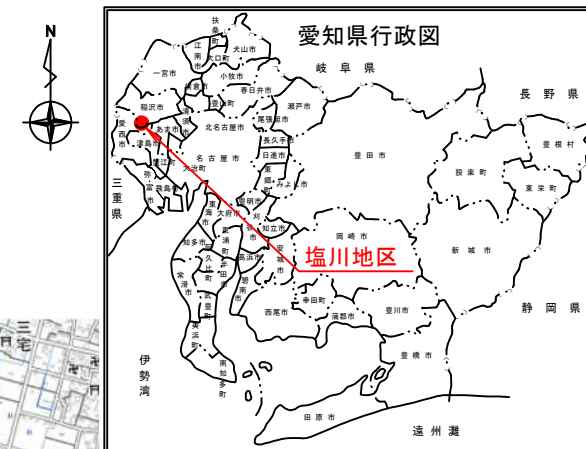
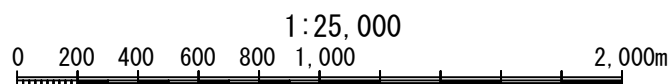
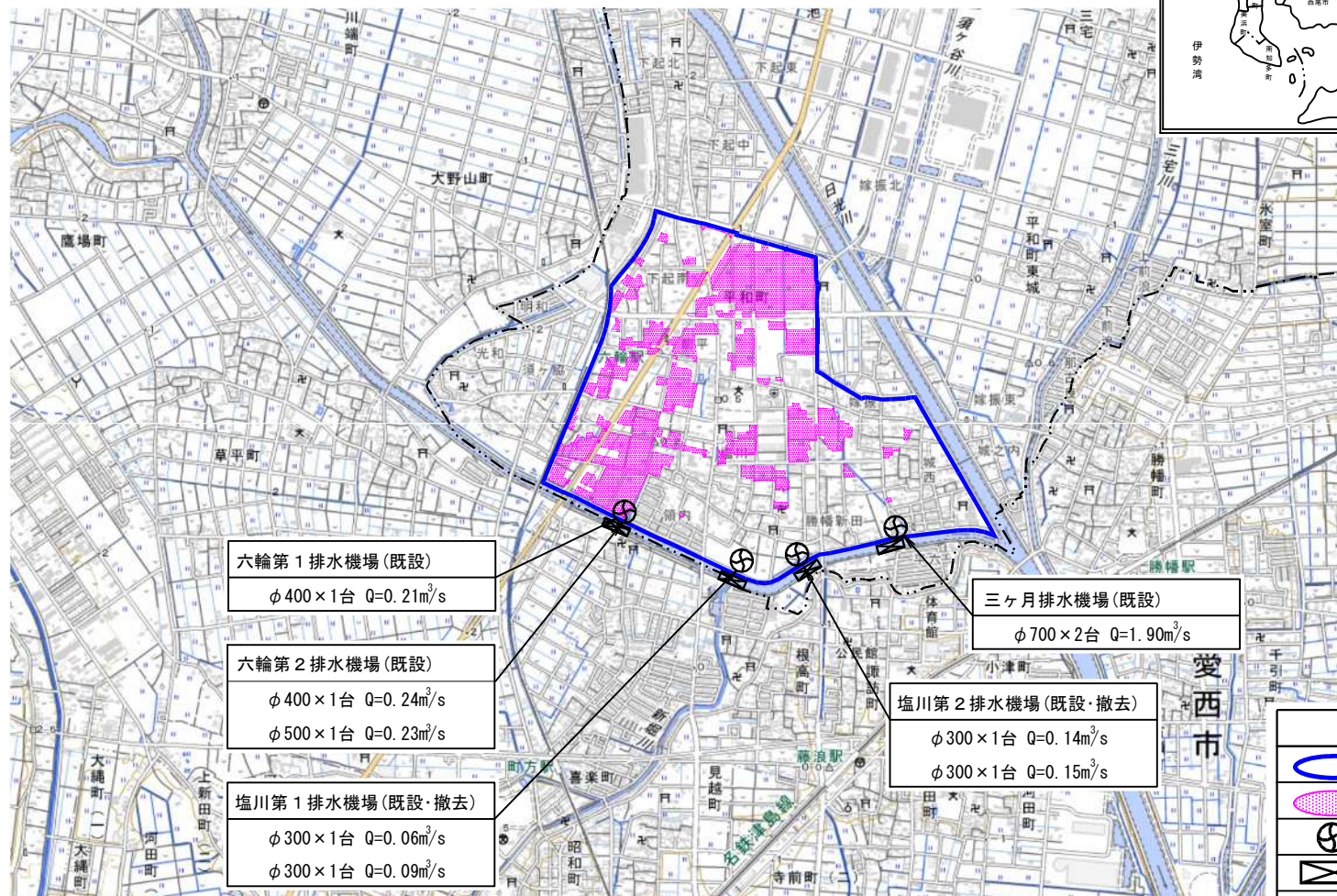
第14章 現況・計画平面図

1. 現況平面図(別 添)
2. 計画平面図(別 添)
3. 土地利用計画図(別 添)
4. 主要構造図(別 添)

緊急農地防災事業 塩川地区 現況平面図

所在地：愛知県稲沢市

S=1:25,000



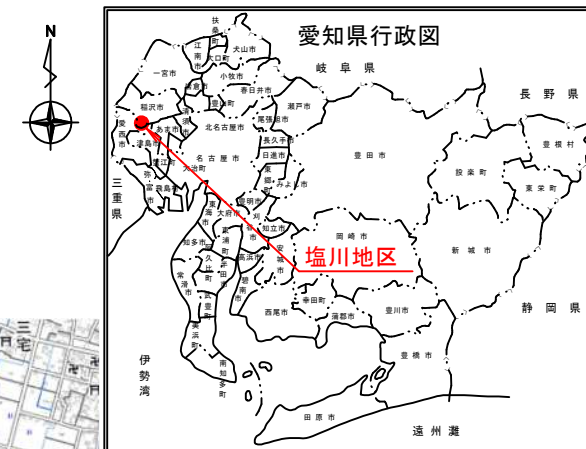
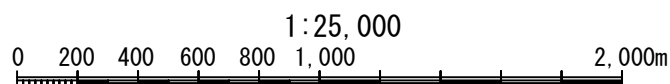
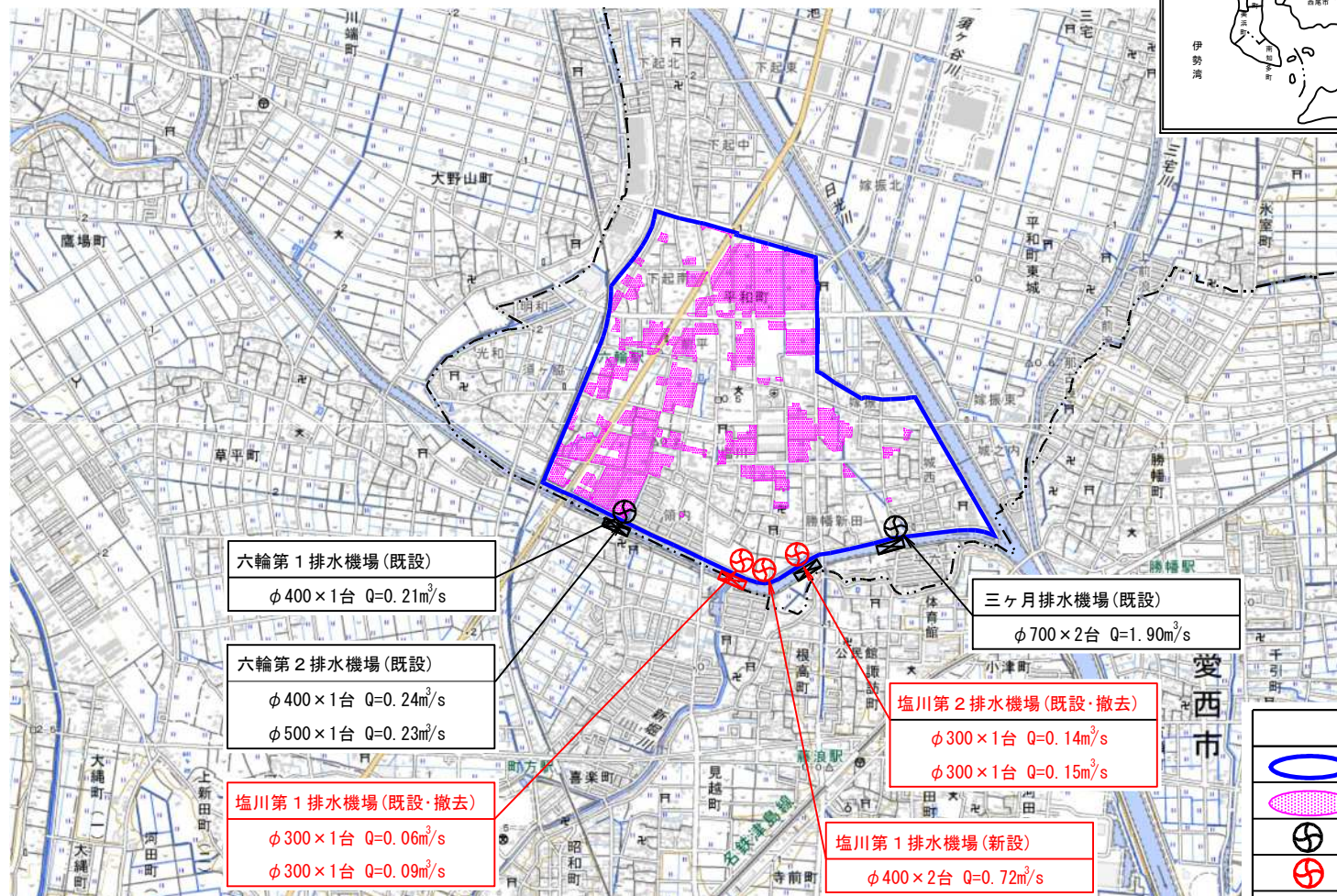
凡 例	
	流域区域
	受益区域
	排水機場(既設)
	樋門・樋管(既設)
	市町村界

出典：国土地理院発行2.5万分の1地形図

緊急農地防災事業 塩川地区 計画平面図

所在地：愛知県稲沢市

S=1:25,000



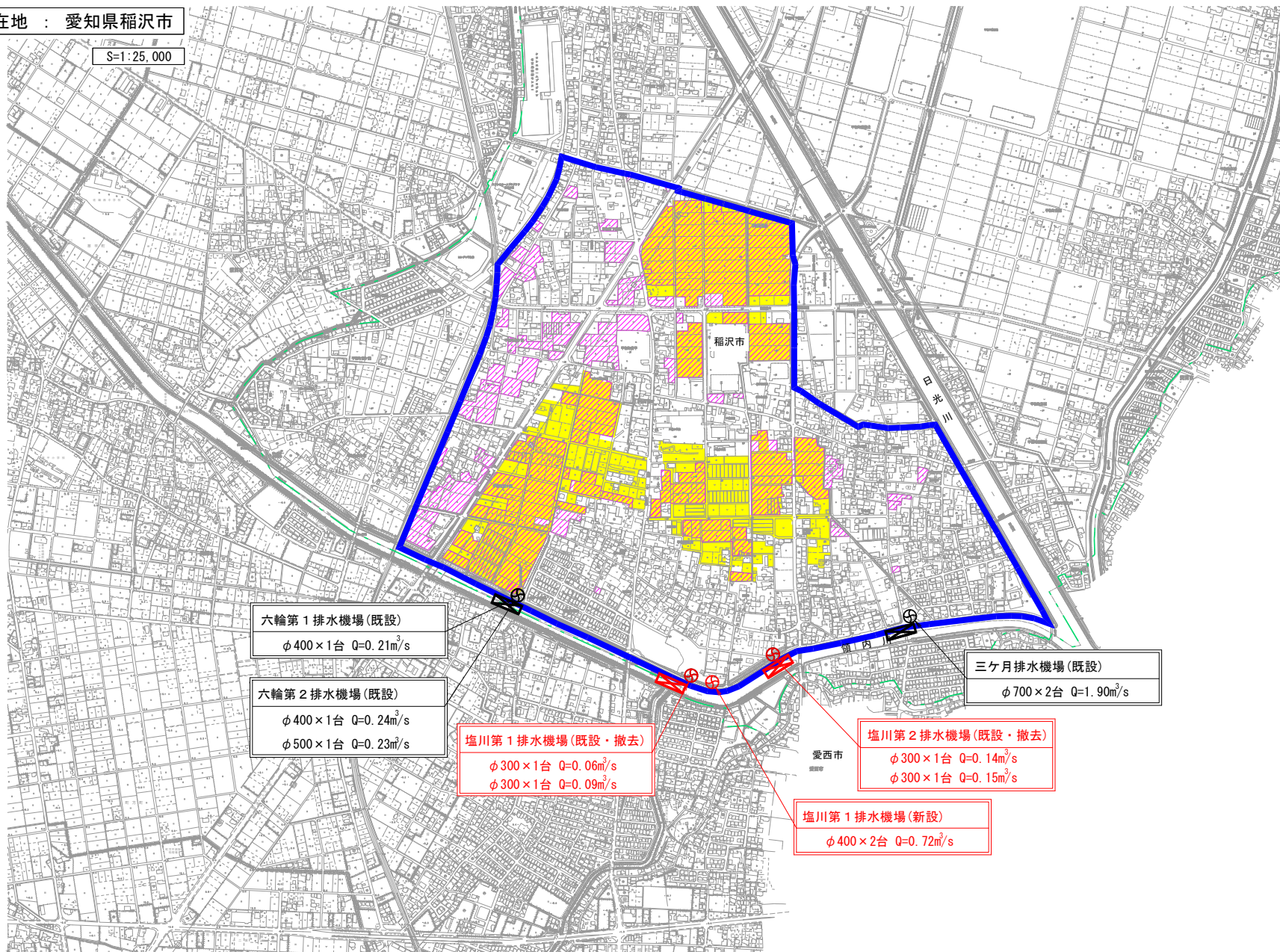
凡 例	
	流域区域
	受益区域
	排水機場(既設)
	排水機場(撤去・新設)
	樋門・樋管(既設)
	市町村界

出典：国土地理院発行2.5万分の1地形図

緊急農地防災事業 塩川地区 土地利用計画図

所在地：愛知県稲沢市

S=1:25,000



六輪第1排水機場(既設)
φ400×1台 Q=0.21m³/s

六輪第2排水機場(既設)
φ400×1台 Q=0.24m³/s
φ500×1台 Q=0.23m³/s

塩川第1排水機場(既設・撤去)
φ300×1台 Q=0.06m³/s
φ300×1台 Q=0.09m³/s

三ヶ月排水機場(既設)
φ700×2台 Q=1.90m³/s

塩川第2排水機場(既設・撤去)
φ300×1台 Q=0.14m³/s
φ300×1台 Q=0.15m³/s

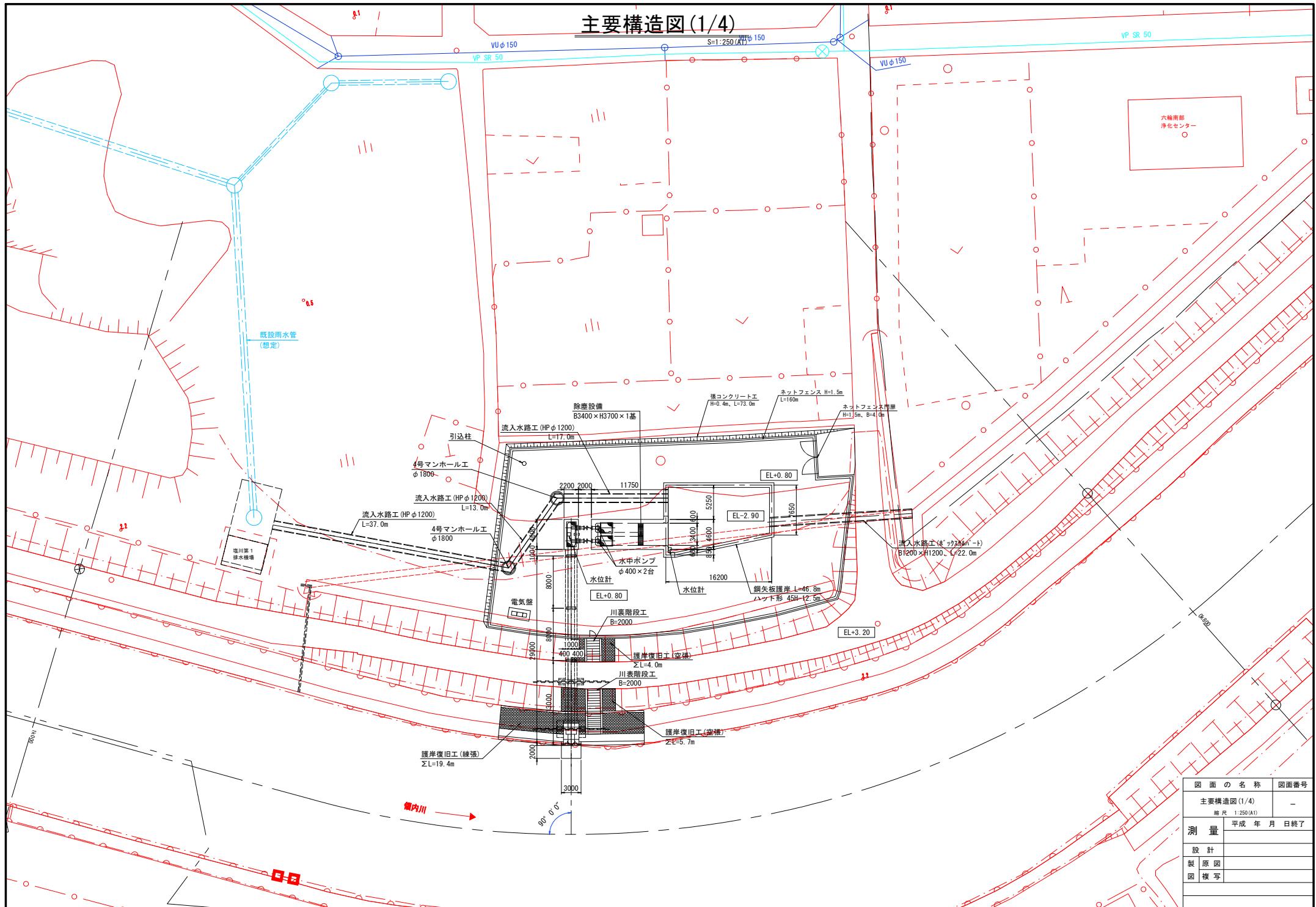
塩川第1排水機場(新設)
φ400×2台 Q=0.72m³/s

凡 例	
	流域区域
	受益区域
	農用地
	排水機場(既設)
	排水機場(新設)
	樋門・樋管(既設)
	市町村界

1:10,000
0 100 200 300 400 500m

出典：稲沢市都市計画図2.5千分の1を加工して作成

主要構造図(1/4)

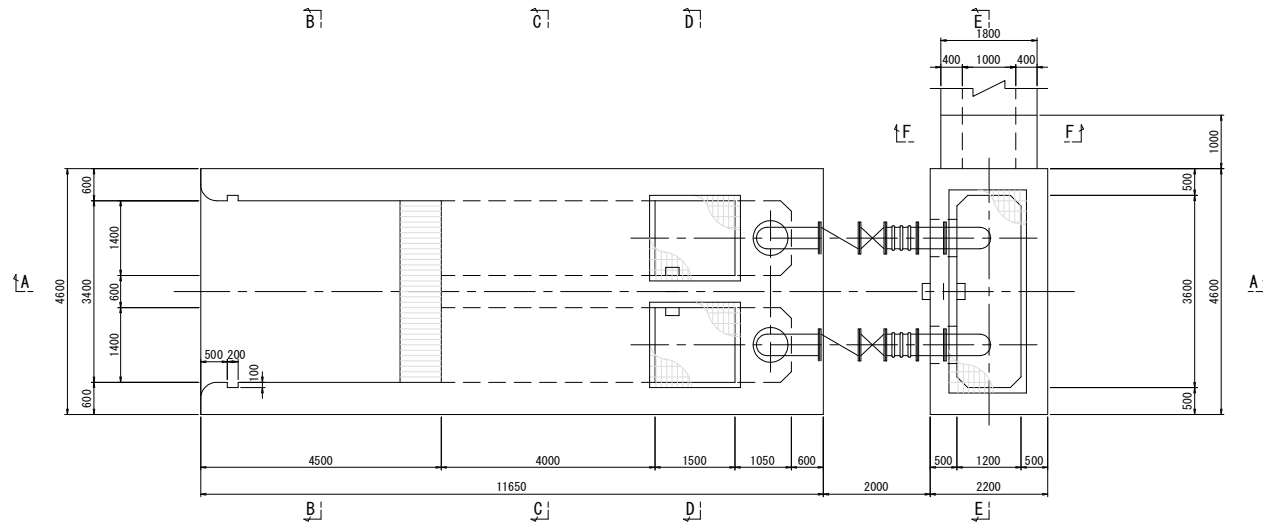


図面の名称		図面番号
主要構造図(1/4)		-
縮尺 1:250(A1)		
測量	平成 年 月 日終了	
設計		
製原図		
図様写		

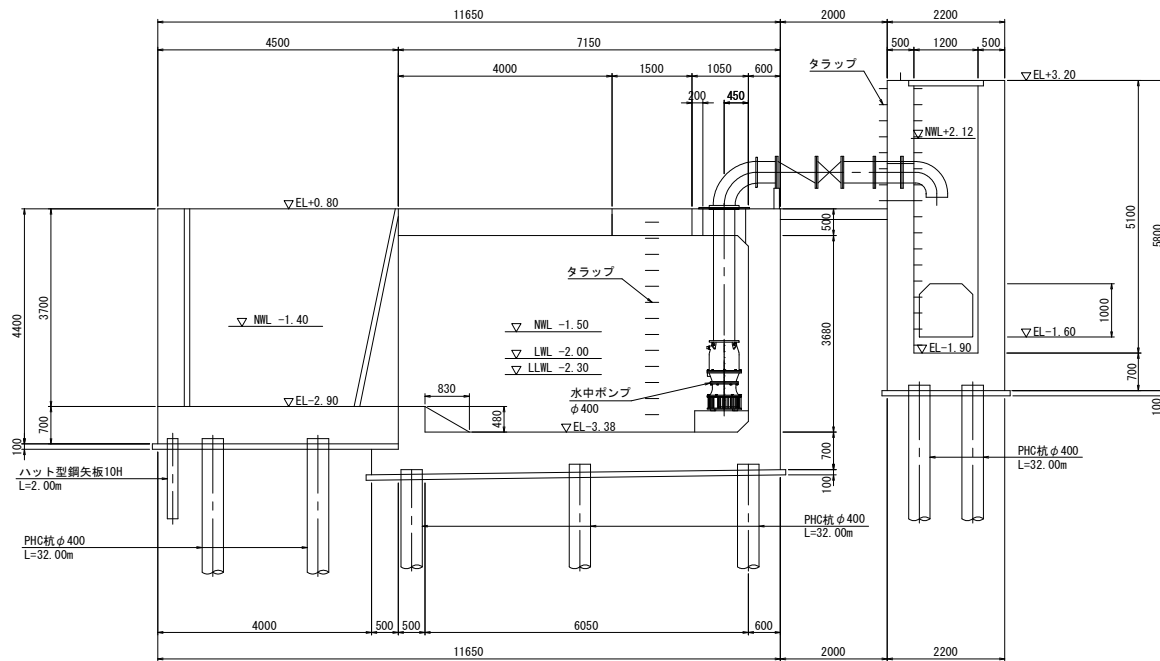
主要構造図 (2/4)

S=1:50 (A1)

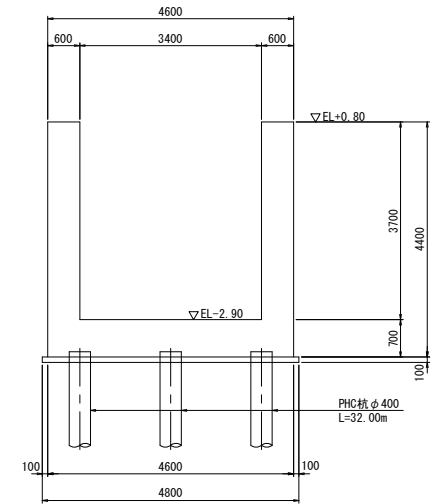
平面図



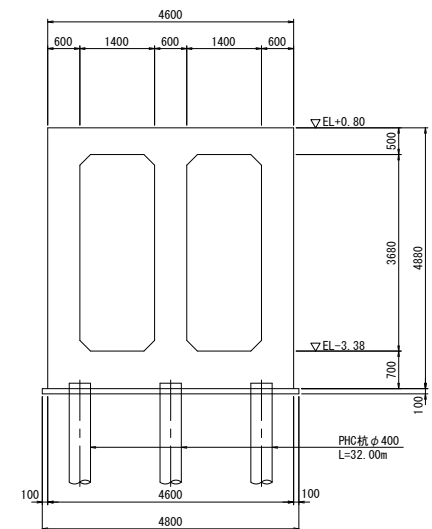
A - A 断面



B - B 断面



C - C 断面



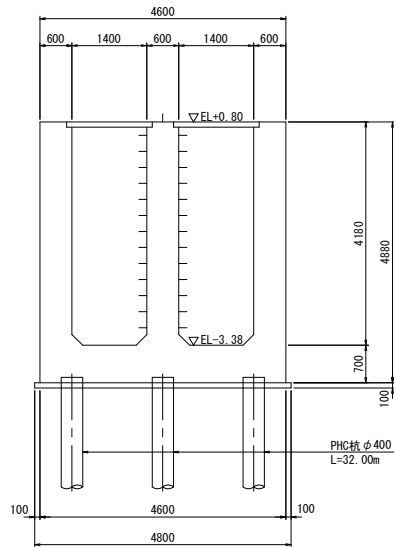
ハンチ寸法は表示のない限り
200×200とする。

図面の名称		図面番号
主要構造図 (2/4)		-
縮尺 1:50 (A1)		
測量	平成 年 月 日 終了	
設計		
原図		
模写		

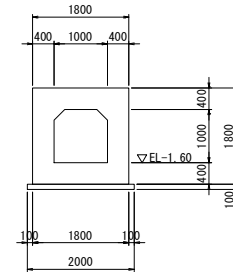
主要構造図 (3/4)

S=1:50 (A1)

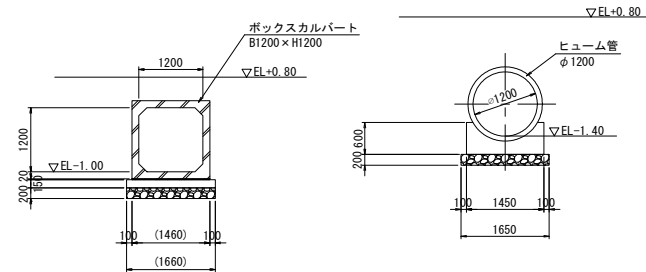
D - D 断面



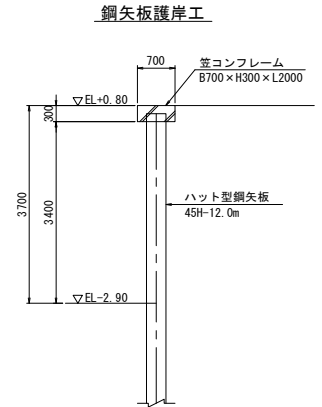
F - F 断面



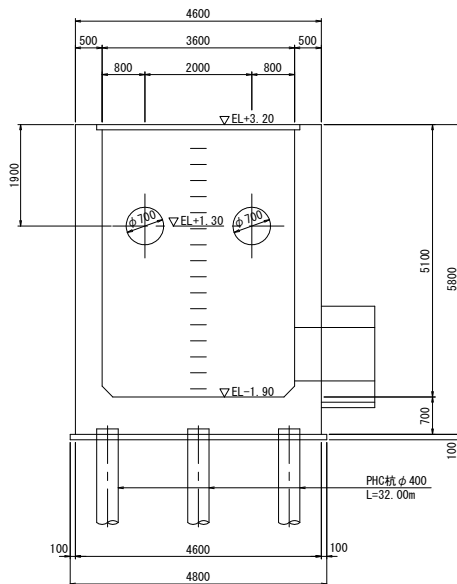
流入水路工



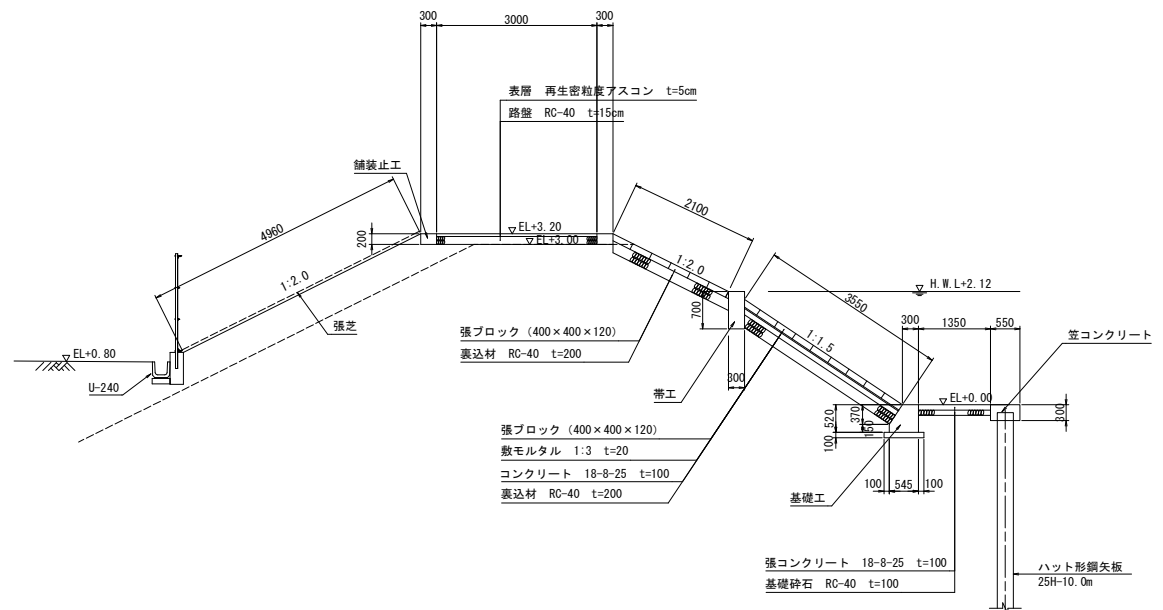
遊水池護岸工



E - E 断面



護岸工標準断面図

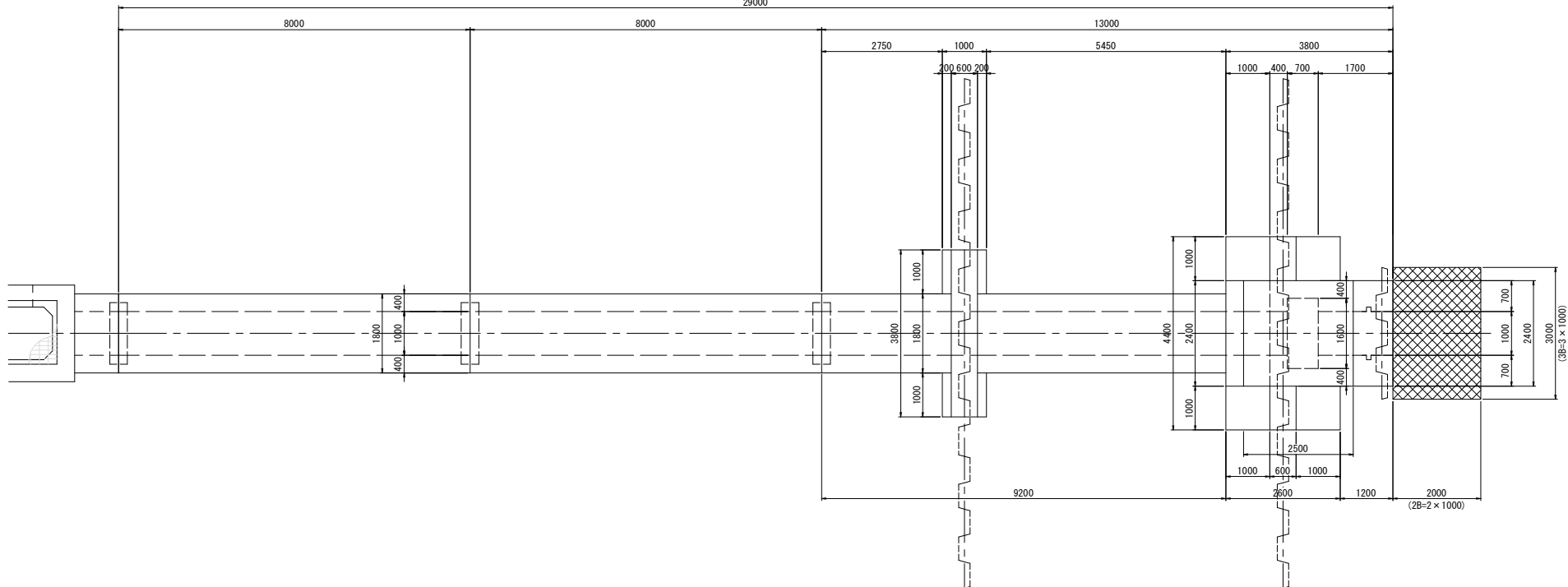


ハンチ寸法は表示のない限り
200×200とする。

図面の名称		図面番号
主要構造図 (3/4)		-
縮尺 1:50 (A1)		
測量	平成 年 月 日 終了	
設計		
原図		
模写		

S=1:50 (A1)

29000



29000

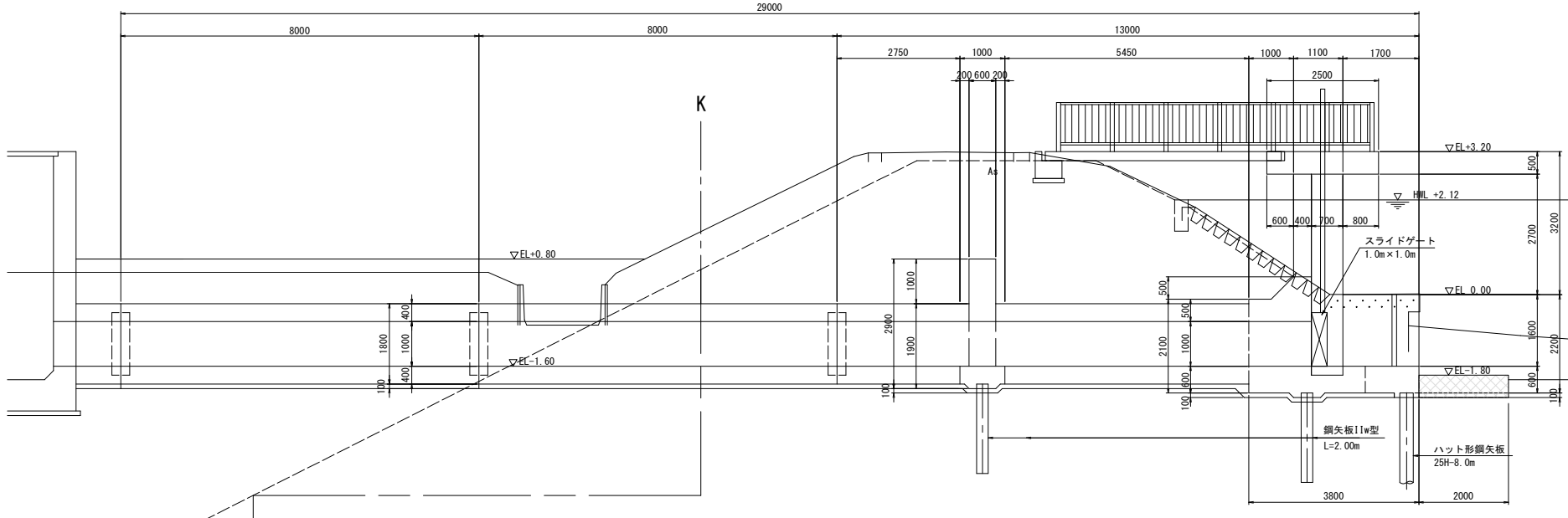


図 面 の 名 称		図面番号
主要構造図 (4/4)		—
縮 尺 1:50(A1)		
測 量	平成 年 月 日終了	
設 計		
	原 図	
	複 写	